

後期では、重要度が低いと思われる項目について削除をするなど、評価項目の見直しを行いました。

後期は、プラス評価が95%を超える項目が前期に比べ2項目増えて5項目となりました。

「勉強が分かる」「友だちと仲良く」「人の気持ちを大切にする」では、96%の児童がプラスの評価をしており、前期に比べプラス評価が増加しています。特に、「登下校の安全に気をつける」の項目では、97%の児童がプラスの評価でした。

「友だちと仲良く」では、77%の子どもがA評価と最も高く、前期に比べて17ポイントA評価が増加していました。また、児童・保護者ともに96パーセントがプラスの評価でした。このことから、前期に比べて学級集団としてのまとまりができ、友だちと仲良くしていこうとする意識が高まってきたことがわかります。

しかし、「自分の考えを発表する」の項目ではプラス評価が74%と最も低く、「進んで学習する」「ほめられる」の項目でA評価が36%と最も低いことから、前期に引き続き学習意欲・自尊感情について課題が見られました。次年度に向けて、さらなる授業改善を積み重ねていきたいと思います。

「人の気持ちを大切にする」では、96%の児童がプラスの評価をしており、前期に比べて7ポイント増加している一方で、「言葉づかい」の項目で、88%の児童がプラスの評価をしているものの、保護者アンケートではA評価が12%と最も低く、言葉づかいについての児童の認識が十分育っていない結果となりました。日常の言葉づかいを再度見直すとともに、T P Oに応じた言葉の使い方を身に付けるよう取り組む必要性を感じます。

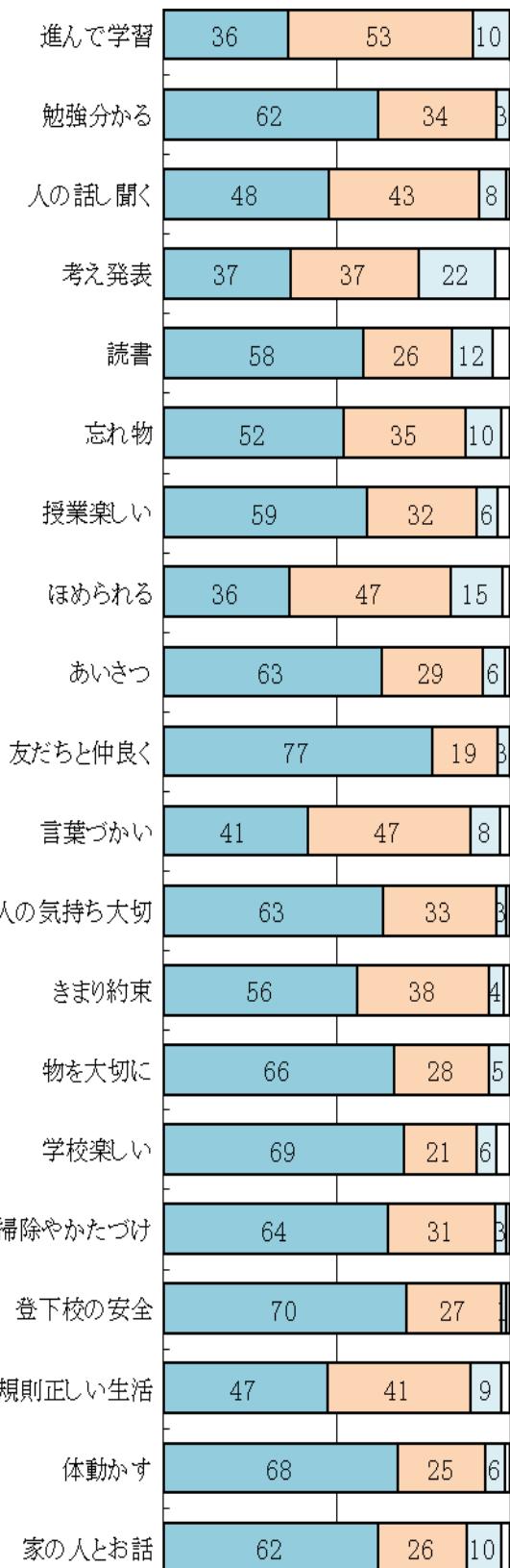
「読書」については、学校運営協議会やPTAの協力により開館時間を増やしたことから、昨年に比べて図書館に来館する児童が多くなり、図書館を利用する機会が増えました。来年度は、図書館活用の幅を広げる取組をすすめ、言語活動の充実を図っていきたいと考えています。

「登下校の安全」は、前期同様にA評価の割合が高く、日常的な声かけや安全指導、PTA・地域の方々によるパトロール活動などにより、安全に気をつけて行動しようという意識が定着しているようです。

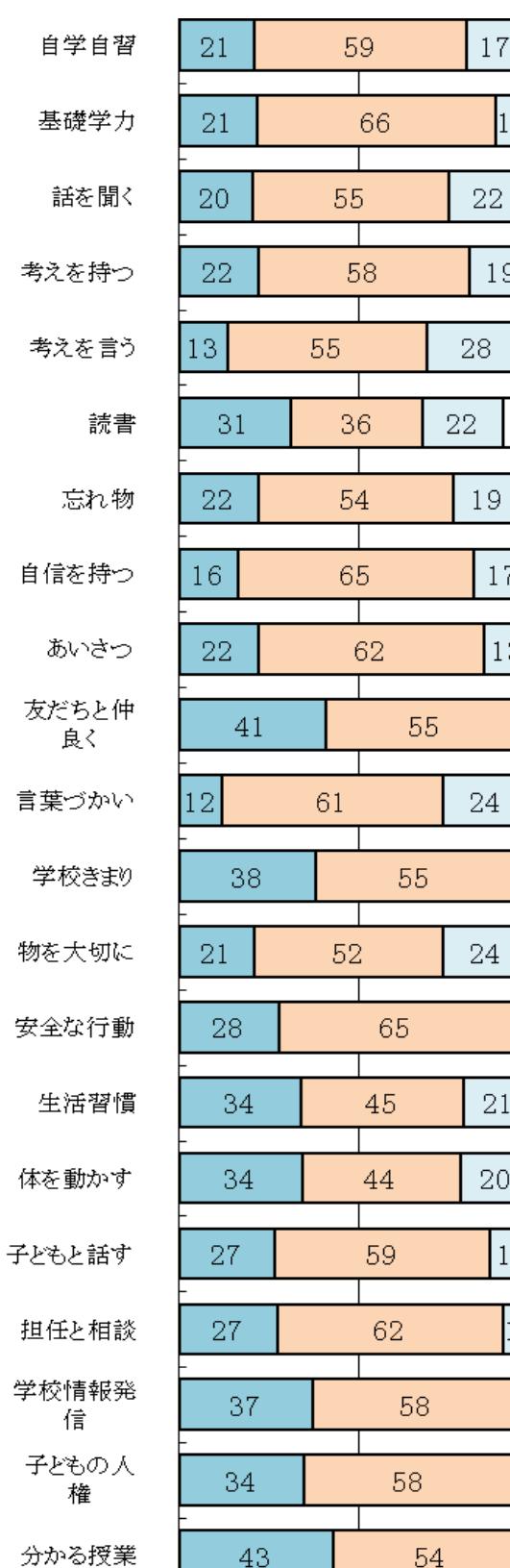
地域女性会や外部講師の協力による4年生茶道体験や琴部の発表会、またパパサポ主催の和楽器体験や生け花教室等、伝統文化に触れる機会を多く持つことができました。

平成25年度後期学校評価の結果をお知らせします

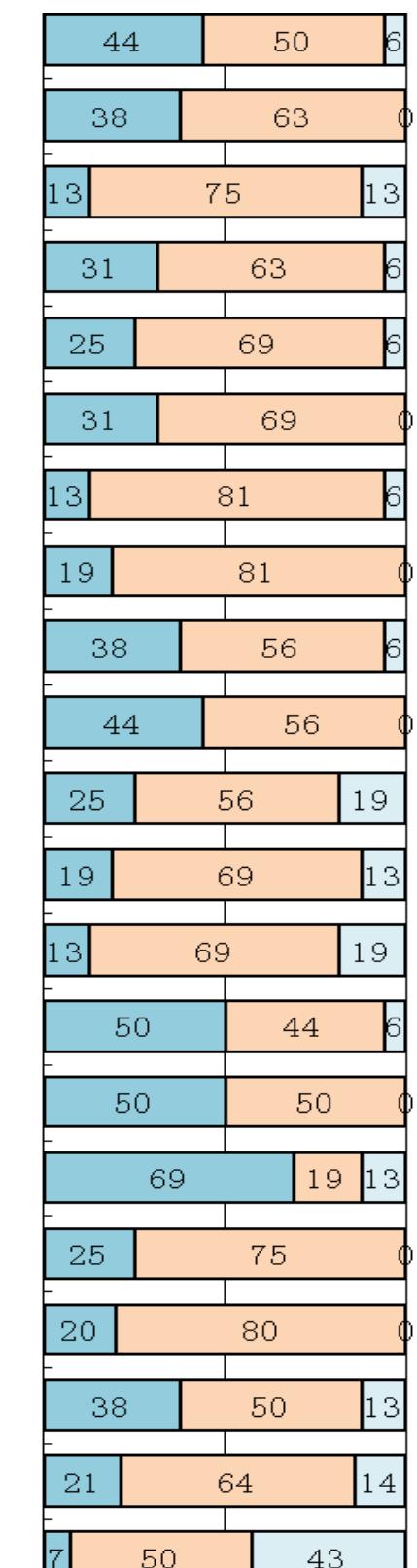
児童



保護者



教職員



実現度

